



聴いてくれる人のため 届け続ける音の贈り物

profile
昭和42年生まれ。旧門別町出身。音楽以外の趣味は美術館巡り。

Spotlight

スポットライト



音楽で慰問活動を続けている

堤 康之 さん

昼間は洞爺温泉郵便局の局長。大切な郵便物を送り届ける仕事の合間を縫って、もう一つ届けているものがあります。「聴いてくれる人のため、いかに喜んでもらうかを大切にしています」。趣味の音楽で慰問活動を始め、音を運んで今年で丸10年が経ちます。

幼少期にオルガンに触れ、多彩なアーティストがチャートにぎわせた高校時代にはバンドを組んで活動。キーボードを任せられ、演奏に打ち込みました。就職などで離れていた音楽に再び熱を入れたのは、現在の郵便局に赴任した2008年以降のこと。知人の紹介をきっかけに音楽グループ「スティビー&OK2」を結成し、西胆振を中心に活動を始めました。

グループ単独の演奏だけではなく、他のグループや歌手の伴奏も多くなすようになると、口コミで福祉施設などから慰問の依頼が来るように。町内をはじめ、豊浦や室蘭など近隣の施設からも頼まれるようになり、現在は年間で20施設ほど訪問しています。「施設に行った時にはどう楽しんでもらうかを大事にしています」との言葉を裏付けるのは持ち曲の数。「青い山脈」「上を向いて歩こう」など往年の名曲から最新のアニメソングまでおよそ1000曲をカバーする上に、けん玉や手品まで交えて観客を楽しませることも。「最近の曲は複雑で」と苦笑いしつつも、頼まれたとあれば最新のポップスも動画サイトで研究して曲目に加えます。

自身を「伴奏屋」とする堤さん。「自分の演奏を聴かせたいとは思いません。私はあくまで裏方ですから」と控え目に語ります。一歩引いた位置から届ける音が、呼んでくれた人の喜びという「やりがい」となって気づけば経っていた10年間。音楽好きの耳を宛先に、贈り物を届け続けています。

東奔西走

今号の特集では虻田中学校の歴史を振り返りました。現校舎の使われ方は完成時から大きな違いが無く、多くの生徒の記憶が残っていると思います。今後も大勢に愛された思い出の校舎を語り継いでいければ。(D.Y)
先日車で出かけた際「練習中」と表示された教習車が走っているのを見かけました。進学・就職を控える時期であることを改めて感じ、私自身も新年度に向けて、私物や今後の予定の整理を始めたいと思いました。(Y.A)

町公式LINEを友だち追加!

イベントや防災など様々な情報に加え、フルカラー版広報紙もご覧いただけます!

